

■ 平成23年度 町政懇談会（産業別）意見交換の主な内容

No	参加者の意見・質問・要望・提案の要旨	町からの回答・意見の要旨 (※後日の回答及び対応を追記しています)
10月11日 商工業分野		
1	<p>・転入者や若年層が結婚のとき家がないという問題をよく聞く。町内の住宅情報がない。町のホームページに空き家情報を掲載している町もあるが、羽幌ではみられない。定住促進とかあるのかもしれないがわからない。羽幌町独自の政策を感じない。</p>	<p>・町のホームページには町営住宅の空き情報と、民間アパートの連絡先一覧を掲載している。ニーズにあった住宅がなかなかないのが現状。不動産業法のからみもあるが、ある程度親切な情報をできる範囲で整理して考えてみたい。</p> <p>・今、自治体財政は非常に不安定な時代で、ハードなものは抑えている。町民の方々からも自分達の足元を見た政策提案を出してほしい。それが有効な形になると判断できれば一歩踏み出すことになる。</p>
2	<p>・人口減が続いている、このままでいいのか。行政側で話し合いをもったことはあるか。</p>	<p>・人口減を止める具体策の話し合いはしてない。町の活性化の中で若者達が元気に動ける状況を作るといった間接的な動きで町が上来上がってくると思っている。</p>
3	<p>・年度当初にプレミアム商品券の要望をしたが、町からは「好評だった半面、一部商店に利用が集中していることや、結果分析が充分でない」との回答でした。意味がよくわからない。一番喜んでるのは町民ということを考えていただきたい。</p> <p>・確かに、5つの振興会ではプレミアム商品券にからめた商売はしてこなかった。今後、その辺を踏まえながら充分協議しながら進めていきたい。</p>	<p>・一過性となる可能性が大きい。結果や成果の検証は必要。プレミアム商品券を実施した結果、個々の商店がどういう状況になったかを見る必要がある。</p> <p>・商工会の力の結集ということになるが、商工会独自の政策を含めてもっと突っ込んだ考えや提案をぶつけていただければと思う。協力体制をとるのはやぶさかではない。</p> <p>・若い人も今後の商工業をどうするかを含め、まとまって提案してくれるればまだまだ前に進める。</p>
4	<p>・今、町有地の売り払いをしているが、管外や道外からの移住促進についての町の考えを聞きたい。</p>	<p>・移住促進は積極的にはやっていない。</p> <p>・そういう意見があったらそこから始まる。しかし一方で、移住促進をやった町が抱えている問題もある。移住者が集まった結果、10数年経過し、高齢化して財政出動が増え過ぎている現実がある。移住促進を否定しているわけではないがそういう例もある。</p>
5	<p>・Lロード振興会の中に旧営林署跡地がある。商工会が駐車場として借り一般開放している。振興会の面積の3分の1を占めているが、その美化が振興会の妨げになっている。地面が不安定で今でもこぼこがあり、水などがたまって不便なので、当面の利活用がないのであれば、暫時砂利など入れて整地してほしい。</p>	<p>・旧営林署跡地については、有効策を見つけることができないまま今に至っている。使っている中で当面地盤だけでもきれいにしてほしいと言うのはもっとも。商店街なので見栄えの問題もあると思う。</p> <p>・直さなくてはならない所は直します。しかし、それからどうすることもある。無駄なことはやりたくない。</p>
	<p>・昨年商工会を通じてお願いしていた。話は伝わっていると思うが、それがそのままになっている。1年たっても返答がないのはどういうことか。</p>	<p>・経緯を調べさせてほしい。</p> <p>(※後日、商工会と財務課で協議。駐車場用地の地盤状況を再度確認の上、当面どうすべきか再度協議して対応することとした)</p>
6	<p>・住宅リフォームの補助制度、平成24年度以降も継続してほしい。また、昨年も要望したが、対象を100万円以上からもう少し下げしてほしい。支援額を増やしてというのではなく、もう少し底辺を広げてほしい。</p>	<p>・基本的には今の制度は3年で終了する。今の制度の内容を見直すことは、不公平感を招くことから、最初に決めた内容のとおり3年間実施する。それ以降については、どういうものが一番いいのか、みなさんの意見を聞き話し合いで方向を決めることになる。</p>
7	<p>・下水道は供用開始後3年以内の補助金制度は今の時点ではなくなっている。最近になってまた接続しようかという人達の声があるが、補助金の見直しとか考えているか。</p>	<p>・単に下水道接続の話とは別に、町として普及率アップの問題がある。下水道計画では、下水道普及が進むとし尿処理は減っていくはず。し尿処理が減った分で、今度は下水道に接続できない区域の人たちのし尿処理の対策を考えることへ回すことになる。</p> <p>・今、新たなし尿処理施設を考えるにあたり普及率が上がらないのが大きな課題になっている。普及率を上げないと次のし尿処理事業に繋がらない。そこで、下水に接続してもらうための政策を今発表しようとしているところ。今の質問に繋がると思う。</p>

8	<p>・地元業者使った場合のリフォーム補助制度があるが、新築にも補助制度をと要望したが、その際は新築へ補助している市町村は僅少とされた。今は管内8市町村のうち3つがやっている。それでも僅少といえるのか。</p> <p>・地元業者は半分くらいは地元から購入し、地元で働く人がいて地域に振舞うお金になる。</p>	<p>・2年前、道内のリフォーム補助のある市町村を参考にしたが、その時間は新築への補助は数件だった。最近では住宅改修補助が地域経済の活性化に繋がるとして見直しをしている自治体が増えていくのは事実。</p> <p>・新築で地元業者を使わない人には、それなりの理由がある。新築も地元業者をとというのは業者の立場ではいいが、建てる側の立場になると本当に通用するのか疑問。新築については非常に難しい。</p>
9	<p>・リサイクル運動が各地でさかんに実施されてきている。市街地に日用品交換会やフリーマーケットなどを開催できる無料の施設を空き地や空き店舗対策として提供を考えてもらえないか。町のにぎわいという観点で交流の場として町が主体的にやってももらえないか。</p>	<p>・いろいろなかたちでやることは可能だと思う。</p> <p>ただ、場所の提供を主体的に町がやるということではなく、やりたい人が主体的に動いていなくてほうまくいかないと思う。発想としてはにぎわいの創造にもなるし同感だが、やり方があると思う。</p>
10	<p>・小学校低学年の子たちが遊び場がないと思う。おろちゃんランドは町から遠いし一人で行かせるところではない。町の中の空いているところに小さくていいから遊べる場所があるといい。</p> <p>・若い人も老人もいろいろな世代で楽しめる公園があってもいいと思う。バラ園も芝生だけでなく楽しめる場所があるといい。川の回りも歩く道路でもあれば若い人のジョギングにも使えるし、年配の人も使える。安心して遊ばせることができる。それによって人も集まってくる公園、留萌管内には意外とないので、あれば人も集まってくるかもしれない。前向きな考えでやる努力が見えたらいいと思う。</p>	<p>・公園については10年以上前に町の中の使われていない小公園を子ども達が遊んでいないのならと整理しすぎたところある。もう一度整理しなおさなくてはならない。</p> <p>・レストパークにしても。都市型小公園は必要な範囲で整備すべきと気にはなっている。</p> <p>・ひとつのハードなものを作り上げたら、年月の経過とともに年齢層も変わるし使い方も変わってくる。どこかに手を加えれば、また使われていく状況になるということと思う。</p>
11	<p>・南3条通りの整備や活性化をしたいとの話あったが、我々もいつも考えている。どういった活性化がいいのか、なにが最初かということもあるが、役場の中で出たアイデアあれば聞きたい。</p>	<p>・人が足を向けるのは何なんだ。人の動きをつくるのは何なんだということ。旧法務局についてはいろいろと政策提案も出ている。建物は使えるし、土地としても3条通りを考えたときには非常に有効な場所になる。取り組みやすい地域と考えている。</p> <p>・一つひとつテーブルにのせながら役場の中でチームをつくって話をしている。いろいろとやるための流れを考えているところだ。</p>
12	<p>・「幸福の黄色いハンカチ」がテレビで放送されたが、羽幌の町や海や山がいろいろ出た。ドラマを見た人には羽幌町が印象に残っていると思う。それを利用して町で黄色いハンカチを利用したPR企画しているのか。おおいにPRしてほしい。</p>	<p>・テレビで使われた場所を観光パンフレットのマップに落として活用していく。焼尻に旗を立てて観光地化しようかと思っている。今、来年のパンフレット用に撮影して今月中は見れるようになっている。ちょうど焼尻～天売間で船から見ることのできる位置だが、来年は場所を変える予定です。</p>
10月18日 漁業分野		
13	<p>・家の前の街路樹、大きくなって電線にかかっている。町内の他のところでも大きすぎる木がけっこうある。危険と思うので管理、対策、きちんとしてほしい。</p>	<p>・今年から街路樹を含め町道の管理は、道路維持組合に業務委託している。枯れた木などは道路パトロールの中で管理はしている。電線にかかって危険ではと今聞いたので、支障があるのであれば、切るので後ほど調査して対応します。</p> <p>(※指摘箇所については、後日対応済)</p>
14	<p>・街路樹の下の花壇の管理は町か。町内でボランティアで草刈りしているが、町に除草剤を供給してほしい要望をしたが、してもらえない。花など植えられて管理されていけばいいが放置されているところが問題。そのへん、町でなんとかしてもらえないのか。</p>	<p>・街路樹の花壇は、町道は町。道道は道の管理になる。子どもたちの歩く道ということもあり、除草剤については環境問題や安全性等を考慮して、使用していない状況です。街路樹等の管理は道路維持管理業務の中で適切に対処していきたい。</p>
15	<p>・職を失っている人多い。羽幌の中で仕事がなければ町を出て行かなくてはならない、せつぱつまった状況もある。人口減にもなる。出て行きたくて出て行くわけではない。町がそういう人たちに向けて窓口を作って、支援することはできないのか</p>	<p>・たとえば、会社が倒産などのときは、町ですぐに相談窓口をつくり対応している。しかし、現実には町内に仕事があればいいが、継続的な仕事を望まれる方が多く、マッチングがうまくいかない。我々も頭を悩ましているところ。非常に難しい問題です。</p>

16	<p>・羽幌町の現状を見て、空き店舗が増えていく中、はどめをかける何か手段はないのか。 商店街を無償で貸してでも札幌あたりからでも人を迎えるとか、店1件でも増やすとか町はなにか考えないのか。</p>	<p>・町が主導権をとって始めても長続きしない。民間の方々の発想を活かしたい。 空き店舗の活用については、自分達が立ち上がって、戦略的に何か立ち上げるという動きがないわけではない。我々はそういう動きを支援する側でなくてはならないというのが基本。民間の方々のまとまった力で方向をみつけてもらったほうがよい。</p>
17	<p>・昨年、新規漁業者、はじめて2～3年くらいの人に対してなにか支援をと要望したが、それについての進捗状況を聞きたい。磯舟一艘やるよとか、100万経費出すよとかいう自治体がある中で、羽幌も若い人に夢が持てるような独自の施策もしていないのかと要望した。考えますと言ったが、検討してもらったのか。</p> <p>・今は、担い手不足という観点から、本人の努力によって参入しやすい状況。前向きな若者が増えている。 基本的に漁協の組合員になるには、漁業で生計を立てることが条件となり、漁具や船が必ず必要。今までは従来の制度などあるという話で終わっていたが、他の自治体では独自に施策を持つところがある。 漁業権の枠があるので、漁協で前整理はする。大きな目でやらないか。若い人に夢を与えて投資したほうがいい。</p>	<p>・漁船や漁具について要望を形にしようとして検討作業はしたが、もう少しはっきりと形にできなく、去年は形にならず終わった。農業との整合性もある。もう一度再検討することになっている。</p> <p>・そういう希望者がいるということは、羽幌町の漁業を担っていくことになるので、大切なことと思う。補助や支援は難しい面も多いがもう少し突っ込んで検討しなくてはならない。</p>
18	<p>・新フェリーターミナルに売店も食堂もなくなると聞いた。 具体的に決まった話ではないが、夢をもっているメンバーがいて、なにかやりたいという話になった。まちおこしにも繋がるし、夏季限定で食堂みたいなものをやるとしたら、可能か。</p>	<p>・商工会や観光協会に聞いたがやる人がいなかった。やりたい人がいるのであれば、大きな食堂は無理だが、ちょっとしたコーナーを作ることは可能。町で場所を貸して、運営は個人となる。毎月若干の使用料もかかることになる。 いろいろなかたちがあるので、やることは可能、検討の余地はある。 (※後日検討し、新ターミナル内に軽食を調理できるコーナーを設置するよう設計変更することとした)</p>
19	<p>・漁協本所、市場事務所建設にあたり、平成25年度供用開始めざして事務を進めているが、その関連での要望を漁協からしたい。</p> <hr/> <p>① 市場建設場所の南側の胸壁、盛土部分、岸壁から北側に20mほど取り崩してフラットにしてほしい。そのほうが利用者の利便性が図られる。</p>	<p>(※時間の関係から、以下持ち帰り、後日の回答としたものはカッコ内に記入)</p> <p>(※後日回答・検討する)</p>
	<p>② 組合の作業スペースと景観上の観点から、組合では電柱を埋設の方向で考えている。できれば町でも埋設を検討してほしい。</p> <hr/> <p>③ 新しい市場に雪冷温エネルギーを利用した低温施設の設置を検討している。メインはエビの鮮度保持を図るため。仮にそれを採用した場合、雪の搬入について協力できないか。 春先暖気になり湿って重量が増した雪が長持ちするといわれている。いったん堆積させたものを搬入するとなると搬入の手間がかかる。それに協力してもらえないか。</p>	<p>・電柱の埋設は考えていなかったのがフェリーと漁協でどのくらい電気量を使うかを北電と相談しながら進んでいくと考えている。 (※図面については提供済。北電へは埋設もありうるとして情報を提供)</p> <p>(※後日回答・協力することについては可能と思われるが、詳細について説明を受けて判断したい)</p>
	<p>④ 事務所移転にあたり、新規に直売所を作るが、大型看板を福寿川河川敷に設置を検討している。除雪などの関わりもあるが、申請すれば許可されるか。</p>	<p>(※後日回答・福寿川(準用河川)の敷地に設置する場合は、占用許可が必要となるので申請書の提出が必要となる。内容に問題がなければ許可することになる。</p>
	<p>⑤ 現在はフェリーターミナル横に公衆トイレがあるが、移設の際は、新たに建設の考えはあるのか。 夜間の釣りの人などもある。また、漁業者についても、夜間、100人くらい出入りする。トイレがないと不便だ。 フェリー会社が開いていないとトイレがないのでは不便。これだけの施設をつくるのに、フェリー会社のためだけのトイレでなく、公共性を重視したトイレは絶対必要。</p>	<p>・トイレを新しく作る考えはなく、新フェリーターミナルのトイレで対応できるよう大きくつくる予定だった。 そこを外からも出入りできるようにして、夜間も使えるよう、両用使いできるよう、今なら、設計段階なので対応可能と思う。 (※フェリー会社とも話をつめる必要があるので今後の設計の中で検討したい)</p>

20	<p>・アクセス道路。現状でも工事車両は南1条通りを使っている。南1条通りと漁協の交差点、普段危ない場面を何度となく見ている。アクセス道路を無視して1条を突き抜ける人出てくる。そこを利用しないような規制や手段など考えていないのか。2条通りも、角を曲がらないでまっすぐ進む車は出てくる。決定したというが、住民の声は聴いているのか。同意を得ているのか。</p>	<p>・角を曲がらないという件については、看板等の周知はできると思うが、通行止めは無理と思う</p> <p>いろいろ検討した結果、議会にも説明し、了承を得て決めた。その過程には、なるべくストレートな形で国道に進入できればと開発ともいろいろと検討した。2条通りは地盤の問題もある。地域住民との話し合いも何回かしており、説明もしている。</p>
	<p>・通行車両と漁業者との混乱で万が一車の事故などあっては大変。通行止めにできないのは理解するが、本当にこのまま進んでいいのか。不安材料が多すぎる。もう少し国道とのアクセスをスムーズにするよう考えられないのか。協議の場をもって改善策もつべき。</p> <p>案があるかないか別として、フェリー会社や漁協とも相談していくことが必要ではないのか。</p>	<p>・今現在は振動調査の結果を待って、大型車両が通る際に大丈夫なよう必要なことをしようとしている。 (※後日検討・・・騒音振動調査の結果に係る地域住民への説明会、漁協及び沿海フェリーへは再度アクセス道路に関する説明を行うこととする)</p>
21	<p>・朝日二股でサケの二次飼育しているが、途中で大昔にコンクリ整備したところがあり、そこでサケがあがれなくてそこから遡上できなくなっている。漁協でもどうにかしなくてはと思っていたが、町民からどうにかしたほうがいいとの声もあった。護岸整備までしなくても土嚢をおくとかする方法もあると思う。町でも、サケがあがれるよう一緒に考えてほしい。サケます増殖事業協議会やサケます試験場なりとも協議してもいいと思う。</p>	<p>・現地を確認し対応を検討します。 (※後日、関係者立会いで現地を確認し、対応を検討している)</p>
10月21日 農業分野		
22	<p>・今年の稲の状況は、3年ぶりの豊作。米の品質も低タンパクで道内トップクラスの高品質米となっている。いもち対策など行政の支援のおかげと感謝しており、今後も引き続き支援をお願いしたい。小麦は年々面積が増加し、合併当時3百ha前後くらいの面積が来年度は1000ha近い面積が作付けされる。平成20年に施設整備をしたが、そこでは処理が困難になっている。小麦の生産拡大ということで新たな穀類乾燥貯蔵施設などが必要。国の補助2分の1が決定したところ。残り2分の1は行政と自己負担となる。すでにお願しているが、なんとか24年度にむけて、行政からの支援いただきたい。</p>	<p>・羽幌の米はほんとうにおいしくなっている。 ・最近農業者を見て、若い人が少しづつ増えていると思う。羽幌町の第一次産業を考えた場合、若者たちが定住してもらわなくては困る。今、可能性がある、なにか取り組みばうまくいく、耐えながらもがんばれるという姿を若い人が持たなくては、本当の意味で根が生えない。 頼るというのではなく一緒にやっていくということを基本にしていきたい。 ・ひとつひとつ話し合いをしながら取り組んでいきたい。 ・生産性の向上は大事だが、それ以前にその基盤となるもの、農業者の意識の高揚も大切。じっくりと話し合っ、農業者全体のご意見を真摯にとらえていきたい。</p>
23	<p>・農協の事務所の移設について、平成25年に向けて新築をする準備を進めている。関係機関なども入ってもらい農業振興センター(仮称)として、道や行政の支援をいただきながら合同庁舎的にすすめたい。</p>	
24	<p>・農業振興については、平成24年度から5年間の振興計画を関係機関の協力を得ながら作成することになっている。若い青年層の担い手の就農支援や農業再生、食糧自給率の向上にむけた対策など、行政と農協が協力しあって一体となって進めていかなくてはならない。内容によっては行政の支援をいただきたい。</p>	
25	<p>・TPPについて、北海道農業にとっては、参加は絶対に反対していかなくてはならない。妥協案として米、小麦、でんぷん、砂糖、乳製品など主要作物10品目を関税撤廃から除外する要求をしているが、その方向で町もなんとか反対していただきたい。</p>	
26	<p>・やはり嫁問題。羽幌町全部で、男でも女でも出会いは必要。</p> <p>昔は後継者対策協議会があつて交流会などを企画してやったが、だんだんやらなくなった。</p> <p>・青年団とかが、そういった花嫁対策をやりたいといえば、後押しできる。役場や農協が考えるのは難しい。今の若い人の考えとずれてくる。失敗してもいいからなんでもやってみなければわからない。が、やらなければ、どうにもならない。</p>	<p>・ひとつ形になれば働く意欲は変わるし、生産性をよぶことになる。役場の若い層になにかアイデアを考えさせてみたい。</p>

	<p>・いかにしてきっかけとつづくか。ひとりでも結ばれるようにしていくことによって地域の活性化につながる。なんとか前向きに考えて行動をおこさないといけない。 羽幌も活気がだんだんなくなっている。花嫁対策でもして活気ある町にしてほしい。</p>	<p>本人が自分の余暇やなにかしらの活動を広げるなどするとまた変わってくるが、青年部で活動するとかもなくなってきているなか、広がりが無い。</p>
27	<p>・町道の除雪については民間委託になっていたと聞かすが、今年はどうなっているのか。 寿町は市街地区を除雪した後に来る。遅すぎるので、農家のトラクターで各々除雪している。ちょっと雪が降ったら10時くらいにならないと来ない。中央は原野の契約なので早い。できれば委託ではなく、農家でやらせてくれないか。</p> <p>・寿町は若い人が増えて、小学生も増えている。しかし、スクールバスが来るまでに間に合わない。みんな自前のトラクターで道を開けている。強く言った人のところだけ開けている。業者でできるだけ改善するようにしていただきたい。</p>	<p>・基本的には今年も同じように契約になる。今までは行政区ごとで一社一社契約していたが、今年からは組合に一括委託するので、可能な限り調整するよう話し合いをもっていきたい。新たな契約になるので、充分加味していきたい。</p>
28	<p>・北町の町営住宅は人は少なくなるし草はぼうぼう。車上あらしもひどい。町営住宅に入居させていない状況で、あそこはいつ解体するのか。管理をきちんとしてほしい。</p>	<p>・計画の中には入っているが、幸町住宅整備の後となるのでまだ先となる。管理についてはきちんとしていきたい。</p>
29	<p>・沢が欠けて水田に流れて来るところがある。土地改良区にも入っていないところ、直してくれと言っているが町の対応が遅い。他にも何箇所か今年の雪で欠けたところがある。災害復旧の指定にはなっていないがなんとかしてほしい。 災害復旧の指定かどうかは我々には関係ない。役場で管理している川であれば役場で直してもらえればいい。一度みてほしい。</p>	<p>・災害指定になるまでに少し足りなくて、応急処置的なことしかできないということになっていた。</p>
	<p>・水田は来年までは待てない。災害にかからないなら直さないのか。川が暴れるてアゼが壊れた。いつ直すのか、明確にしてくれないと困る。</p>	<p>・直す方向で調査している。 (※後日、関係者立会のもとで現地確認済。検討課題とした)</p>
30	<p>・焼尻サフォークを羽幌以外の人が買いたい場合はどこへ行けば買えるのか。</p>	<p>・地元では町民還元があるが、それ以外では、萌州ファームではインターネット販売している。札幌ではエスタで毎週金土に販売している。また萌州ファームに直接連絡すれば買える。</p>